

# 令和7年度 健康保険委員研修会

## 健診・人間ドック等について

---



全国健康保険協会京都支部

①生活習慣病予防健診の範囲拡大

②骨粗しょう症検診の追加

③付加健診の名称変更

④人間ドックの補助開始



# ①生活習慣病予防健診の範囲拡大

一定年齢の若年層も生活習慣病予防健診を受けられるようになります。

従来の対象者:35歳～74歳の被保険者



令和8年度より

20歳、25歳、30歳の若年層の被保険者も対象になります！

種類	検査項目	対象者年齢
一般健診	<ul style="list-style-type: none"><li>●診察等</li><li>●問診</li><li>●身体計測</li><li>●血圧測定</li><li>●尿検査</li><li>●血液検査</li><li>●心電図検査</li><li>●胃部レントゲン検査(胃がん検査)</li><li>●胸部レントゲン検査(肺がん検査)</li><li>●便潜血反応検査(大腸がん検査)</li></ul>	35～74歳
NEW 一般健診 (若年者)	一般健診の項目から胃・大腸の検査を省略した健診	20歳・25歳 30歳

胃・大腸の検査は含まれませんが、補助を利用すれば、自己負担額2,500円(上限)で一般健診を受診いただけます。

## ②骨粗しょう症検診の追加

生活習慣病予防健診の「オプション検査」の補助が追加となります。

種類	対象者年齢
乳がん検診	40歳以上の偶数年齢の女性
子宮頸がん検診	20歳以上の偶数年齢の女性 ※20歳～38歳の年齢は単独で受診可能
<b>NEW</b> 骨粗しょう症検診	40歳以上の偶数年齢の女性

### 骨粗しょう症検診はなぜ必要

骨粗しょう症は自覚症状がないまま進行し、骨折したときに初めて気づくケースが多いとされています。骨折は生活の質(QOL)や要介護リスクに直結するため、早期発見がとても重要になります。

### ③付加健診の名称変更

従来の「付加健診」から名称が変わります。

#### 付加健診

一般健診に加えて、さらに検査項目を増やし、病気の早期発見や生活習慣改善などの健康管理に活かします。

種類	検査項目	対象者年齢
一般健診 +	<ul style="list-style-type: none"><li>・診察等</li><li>・問診</li><li>・身体計測</li><li>・血圧測定</li><li>・尿検査</li><li>・血液検査</li><li>・心電図検査</li><li>・胃部レントゲン検査(胃がん検査)</li><li>・胸部レントゲン検査(肺がん検査)</li><li>・便潜血反応検査(大腸がん検査)</li></ul>	35～74歳
(従来の) 付加健診	<ul style="list-style-type: none"><li>・尿沈渣顕微鏡検査</li><li>・肺機能検査</li><li>・眼底検査</li><li>・血液学的検査</li><li>・生化学的検査</li><li>・腹部超音波検査</li></ul>	40歳・45歳 50歳・55歳 60歳・65歳 70歳



節目健診

に名称が変更

※名称変更併せた検査項目や対象年齢の変更はございません。



## ④人間ドック健診の補助開始

令和8年度より「人間ドック健診」の補助が始まります。

### 対象者

35歳以上の被保険者

### 補助額

25,000円の定額補助

例:健診機関が定める人間ドック料金が4万円だった場合  
40,000円-25,000円(補助額)=15,000円(自己負担額)  
※人間ドック料金は健診機関によって異なります

### 条件

協会けんぽと契約した健診機関で受けること

実施機関については、協会けんぽのホームページでご確認ください

### 注意点

人間ドックの補助を利用した場合は、同一年度内に生活習慣病予防健診を受けることは出来ません。生活習慣病予防健診のオプション検査である乳がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診の補助は併用できません。

## 人間ドック健診のメリット

- 検査項目が充実しています。
- 医師の結果説明について、当日に血液検査などより詳しい説明を聞くことができます。
- 特定保健指導については、対象者は当日に健診機関で受けることができます。

## 健診当日に保健指導を利用する

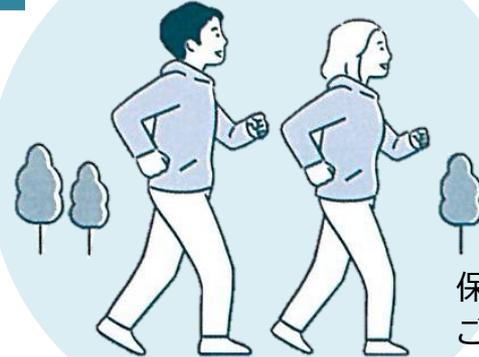
### 3つのメリット

#### 1 健診直後に相談



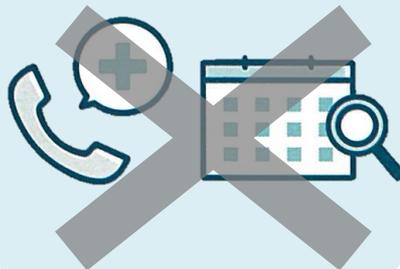
健診受診直後の健康を意識した状態で健康相談を利用することができます

#### 2 健康づくりを即開始



保健指導を受けた日からご自身で健康管理を始められます

#### 3 準備調整が不要



後日の日程調整や準備が必要ありません

# (参考)健診項目の比較について

検査項目		人間ドック	節目健診	生活習慣病 予防健診	検査項目	人間ドック	節目健診	生活習慣病 予防健診		
診察等	問診	○	○	○	血液一般	赤血球数	○	○	○	
	自覚症状	○	○	○		白血球数	○	○	○	
	他覚症状	○	○	○		血小板数	○	○		
	身体計測	身長	○	○		○	末梢血液像		○	
		体重	○	○		○	MCV	○		
	BMI・標準体重	○	○	○		MCH	○			
	肥満度	○				MCHC	○			
	腹囲	○	○	○		CRP	○			
	血圧(収縮期/拡張期)	○	○	○		血液型(ABO Rh)	◎			
	心拍数	○				HBs抗原	◎	◎	◎	
視力	○	○	○	腎機能	尿蛋白	○	○	○		
聴力	○	○	○		潜血	○	○	○		
脂質	総コレステロール	○	○		○	尿沈渣顕微鏡検査	●			
	空腹時中性脂肪	○	○		○	血清クレアチニン(eGFR)	○	○	○	
	随時中性脂肪		■※※	■※※	心機能	心電図	○	○	○	
	HDL-コレステロール	○	○	○		胸部エックス線検査	○	○	○	
	LDL-コレステロール	○	▲	▲	肺	喀痰細胞診		◎	◎	
	non-HDL-コレステロール※1	○	▲	▲		努力肺活量		○		
	肝機能	AST(GOT)	○	○	○	呼吸機能	1秒量	○	○	
		ALT(GPT)	○	○	○		1秒率	○	○	
		γ-GT(γ-GTP)	○	○	○		%肺活量	○	○	
		ALP	○	○	○	眼底検査	○	○	□	
代謝系	空腹時血糖	○	▲	▲	眼圧検査	○				
	随時血糖※2		▲	▲	骨粗鬆症検診		◎	◎		
	HbA1c	○	▲	▲	胃	上部消化管エックス線検査※3	○	○	○※	
	尿糖	○	○	○	腹部超音波検査		○	○		
	尿酸	○	○	○	大腸	免疫便潜血反応検査	○	○	○※	
	総蛋白	○	○		結果説明(医師が担当)		○			
	アルブミン	○	○		保健指導		○			
	総ビリルビン	○	○		オプション検査	上部消化管内視鏡	◎	◎	◎	
	アミラーゼ	○	○			乳房診察+マンモグラフィ	◎	◎	◎	
	LDH	○	○			乳房診察+乳腺超音波検査	◎			
血液一般	ハマトクリット値	○	○	○		婦人科診察+子宮頸部細胞診	◎	◎	◎	
	血色素量(ヘモグロビン値)	○	○	○	PSA	◎				
					HCV抗体	◎	◎	◎		

## 人間ドックと節目健診・生活習慣病予防健診とで実施要否に差異のある検査項目

- ・・・必須項目
- ※・・・20歳・25歳・30歳は検査項目に含まない
- ◎・・・オプション項目または本人の申出により省略可
- ・・・尿蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
- ▲・・・いずれかの項目でも可
- ◎・・・50歳以上で喫煙指標が600以上であり、検査を希望する者に実施する項目
- ・・・医師の判断に基づき実施する項目
- ※※・・・やむを得ず空腹時以外に採血を行った場合、随時中性脂肪により検査を行うことを可とする
- ※1・・・中性脂肪が400mg/dl以上や食後採血の場合、LDLコレステロールの代わりにnon-HDLコレステロールにより血中脂質検査を行うことを可とする
- ※2・・・食事開始後3.5時間以上経過していること
- ※3・・・本人の希望等により胃内視鏡検査に代えることができる

# 加入者皆様への健康増進に向けて

## 健康増進に向けた2ステップ

① 生活習慣病予防健診、人間ドック健診の補助をご利用ください！

- ②
- 病気が見つかった方は早めに治療を！
  - 特定保健指導の対象となった場合は積極的に利用しましょう。事業所様へご案内が届きましたら、日程等の調整をお願いします。

従業員とご家族が健康に過ごせることで、職場の雰囲気  
が明るくなり、生産性の向上・人材確保にもつながります。

## 令和9年度からの予定

### 被扶養者に対する健診の拡充

➤ 被扶養者に対する健診について、被保険者に対する見直し後の人間ドックや生活習慣病予防健診と同等の内容に拡充します。

(現行の特定健診の枠組みは維持)

ご清聴いただき  
ありがとうございました

京都支部ホームページ  
または動画概要欄に掲載の  
アンケート回答へのご協力を  
お願いいたします



全国健康保険協会京都支部